

## The TENDAI journal

令和5(2023)年5月1日月曜日  
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル

発行所: 天台宗出版室  
発行人: 出版室長 小林 祖承  
〒520-0113 大津市坂本4-6-2  
天台宗務庁内 電話: 077-579-0022(代)  
Eメール: T-Press@tendai.or.jp

広報天台



多くの方々からの善意を直接届けた

トルコ共和国大使館に義援金寄託  
被災地の早期復興祈り、支援継続を約束

天台宗・一隅を照らす運動総本部は令和5年2月6日に発生したトルコ・シリア大地震による被災地を支援するための義援金と呼び掛けてきたが、3月31日までに2千万円を超える善意が寄せられている。4月17日には小林祖承参務・総務部長と竹内純照参務・一隅を照らす運動総本部長が東京都渋谷区のトルコ共和国大使館を訪問し目録を手渡した。

トルコ・シリア大地震の発生を受け、天台宗では2月10日付けで阿部昌宏総務総長によるお見舞いの談話を発表。同時に、一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」を通じて緊急救援募金を実施した。また天台宗議会で「トルコ・シリア地震で被災された方々への支援に関する決議

文」が採択され、全寺院に支援と呼び掛けるなど、宗内一丸となつて取り組んできた。義援金受付締め切り日の3月31日までに寄せられた支援額は2289万2316円。そのうち、トルコ大使館に1千万円、日本赤十字社に359万2316円、AMD A(アムダ)と日本ユニセフ協

## 早期復興を願って

トルコ共和国大使館を訪れた小林総務部長と竹内一隅を照らす運動総本部長は、ジェミル・ウフック・トールル一等参事官と面会し、義援金1千万円の目録を手渡した。ジェミル一等参事官の話では、被災地では今も食糧事情などは厳しく、被災者の住居問題などの課題解消に向けた復興住宅の建設が進められているという。また日本政府からは仮設病院の設置や、200以上の救援隊が現地で支援活動を展開していることに謝意を表し、「日本の方々への感謝は尽きない。トルコでは、災害が発生したときには日本を例にしないと言われる。今後も大都市圏での地震が予知されており、耐震技術などを日本から学びたい」と話した。

アムダ通じ  
医療支援に寄与

小林総務部長は「天台宗ではトルコの方々に一日も早く平安が訪れるよう祈り、支援を継続したい」と約束した。



提供: AMDA

岡山市に本部を置く国際医療ボランティア団体『AMD A』には、3百万円を寄託。医療支援に活用されている。アムダでは、地震による深刻な被害状況を受け、2月11日に医療チームを被災地アドウヤマン県に派遣。現在は医師、看護師、現地調整員の各2名が地元医師会と協力しながら巡回診療への同行、物資支援、被災者の健康チェックなどを中心とした活動を行っている。

難波妙理事によれば、地震発生直後は、マイナス7度まで大変多くの真心こもる浄財をお寄せいただき、篤く御礼申し上げます。皆さまからお預かりしておりました浄財は、トルコ共和国大使館をはじめ被災地支援に尽力される団体へ寄託させていただきました。なお、「トルコ・シリア地震災害義援金」は、現在も指定寄付として受付しております。

引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。天台宗・一隅を照らす運動総本部

で気温が下がるなか、ほとんどが家族単位でテント生活を余儀なくされていたという。それらの避難テントをまわり、健康状態の聞き取りをしながら食糧や防寒着などの支援を実施してきた。また隣国シリアから避難する被災者もあり、継続支援が必要のようだ。

## 極微

「馬が合う」という慣用句があるが、「気が合う」とか「相性が良い」という意味である。語源は乗馬からきているそうだ。馬は賢い動物だから、乗り手を見る。「息が合う」かどうかをみるという。だから、騎乗する人間と息が合わない馬も力を出さないことになる。「馬が合えば」まさに人馬一体の境地となる▼反対に相性が悪いことの慣用句には「水と油」や「大猿の仲」というのがある。何かにつけてぶつかり、同調することがない。相性が悪ければ互いに離れて行けばよいだけだが、現実にはなかなかそうはいかない▼人の出会いという観点からすれば、この世には「愛別離苦」と「怨憎会苦」という苦しみがあある。「愛別離苦」は愛しい人といつか別れねばならない苦しみであり、「怨憎会苦」は憎み嫌う人とも必ず会うという苦しみだ。これは生まれてから老年まで続く避けられないことである▼思つようにいかないのが人間関係。そうである以上、折り合いを付けるしかないのだ。一番大事なこと、自分を一歩引いて見る、すなわち、相手の立場に立つてみる、ことである。そこで気がつくことがあるはず。その上での主張のやりとりであろう。近頃は自己主張ばかりの世の中になった気がする。顔と顔をつき合わせ、じつくりと話し合う場が少なくなつたせいであろうか。